

第62期  
会社開眼の法則を实践。

しがらみのない環境で日々の仕事を可視化し、  
人と事業を開化させる。

人より多くの失敗が成長の糧となり、  
その足跡が歴史に残る。

いつまでも、心の持ち方は、青春であれ。

この経営計画書は家族の期待と責任を一身に背負っている社員が、安定した生活を築くため、  
昨年の過ちを正し、お客様に愛され支持される会社を実現するために、数字による目標と方針を  
明確にし、何をしなければならないか、又、何をしてはいけないかを、全身全霊、精魂を込めて  
書き上げたものです。

ここに書かれた目標、方針は幹部が**参画**して、作成したのですが、最後の利益責任は社長一人にあります。

社長の勤めは、「決定」と「チェック」です。

夢のある事業計画を作成し、社員が、力を合わせて成果が得られれば、皆さんのお手柄です。

したがって、実行する主役である社員一人一人に実施責任を持っていただきます。

朝、起きて仕事の出来ることに感謝し、家族・同僚との絆を大切にし、同じ時代に生きる縁の  
不思議さと喜びを共有して、多くのお客様や関係する方々が応援して下さる会社にします。

社長が先頭に立って、汗を掻いて働きます。無理を承知で、皆さんに協力をお願いいたします。

2025年5月7日  
代表取締役社長  
小山昇

